

県立川越総合高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	全日制	学科	総合学科	R5.5.1 生徒数	(男) 158 (女) 525	計683			
アクセス	J R川越駅から徒歩 20 分、西武新宿線本川越駅から 15 分、東武東上線川越市駅から 20 分								
<目指す学校像>									
多様な学習ニーズに応える学校 ～ 農・食・生活・環境の特性を活かす総合学科 ～									
<教育課程等> ※ 1									
このような学びを行います									
<ul style="list-style-type: none"> ① 総合学科の特性を活かした多様な学びで、学習習慣の定着と進路意識の向上を図ります。 ② 検定試験、資格取得の奨励により、進路実現につなげます。 									
総合学科の特性を活かした多様な学びとは？									
<ul style="list-style-type: none"> ① 単位制のメリットを生かして、普通教科と多彩な専門教科を総合的に学習します。 ② 1年次は普通科目を中心とした基礎学力の定着とキャリア教育の充実を図ります。 ③ 2年次からは進路や適性・興味・関心によって多くの科目を選択することで、一人ひとりのニーズに対応するカリキュラムを作成します。 									
									
				温室野菜	フラワーデザイン				
<本校が求める生徒> ※ 2									
このような生徒を求めています									
<ul style="list-style-type: none"> ① 目標を持ち、夢の実現に向けて努力する生徒 ② 地域社会の発展に貢献しようとする意欲を持つ生徒 									
<学校行事>									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同実験実習（熊谷市 1泊2日） ・ 修学旅行（R5 広島・関西方面 3泊4日） ・ 川総祭（学習成果を披露する企画が多数） ・ 体育祭（団対抗戦、応援合戦、実習 5分前リレー） ・ 落ち葉掃きボランティア 									
									
				体育祭	落ち葉掃き				
<部活動>									
<p>（運動部）陸上競技、野球、バレーボール（女子）、バスケットボール、ソフトテニス、卓球、剣道、ソフトボール（女子）、弓道、バドミントン</p> <p>（文化部）茶道、華道、文芸、美術、書道、写真、科学、演劇、JRC、吹奏楽</p>									
									
				吹奏楽	バレーボール				
<家庭・地域との連携>									
三者面談（6月）、学年別保護者会、PTA研修会、地元育成会との交流 農産物販売会（校内、地元百貨店等）、大学との連携、養蚕資料室の整備と活用 里山保全活動（NPO法人、卒業生等との連携）、子ども食堂等との連携									
進路	R5.3 卒業生	四大	54人	短大	40人	専門	99人	就職	35人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年、四年制大学・短期大学・専門学校、就職の割合はほぼ同じような傾向にある。 ・ 四年制大学・短期大学への受験は、学校推薦型選抜（指定校・公募制）及び総合型選抜（旧AO入試）の利用割合が高い。 ・ 就職は、製造・販売・事務・サービスなど多方面にわたる。 ・ 在学中に学んだ専門分野を深め広げることのできる進路先を目指す生徒が多い。 							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針

裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

※ 1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

※ 2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針 ～ グラデュエーション・ポリシー ～

- ・ 夢と希望の実現
- ・ 社会に貢献する意欲
- ・ 全生徒の進路保証

目指す生徒像「広い視野を持ち、夢の実現に向けて学び続ける生徒」

本校ならではの特色ある教育活動で

動植物や人とのふれあいを重視し、豊かな人間生活を実現するために主体的に学ぶ生徒
豊かな情操と未来を拓く創造力を身に付け、社会の進展に柔軟に対応できる生徒 を育てます。



実践的職業教育の充実

地域や産業界との連携

NPOとの連携

活気ある部活動

高大連携

ボランティア活動

学校農業クラブ活動

挨拶運動

3
年
次
生

- ・ 希望進路に向けた選択科目
- ・ 適性や興味・関心の伸長及び人間力の育成
- ・ 社会の諸課題を認識し、自らの生き方を探究
- ・ 文化祭、体育祭など学校行事の中心的な役割
- ・ 希望進路への取り組み

2
年
次
生

- ・ 進路実現に向けた選択科目
- ・ 適性、興味・関心による進路学習
- ・ 自分自身の時間割作成が可能
- ・ 選択の目安となる4つの系列（農業科学、食品科学、生物活用、生活デザイン）の設定
- ・ 修学旅行、文化祭、体育祭など学校行事への積極的な参加
- ・ SDGs に代表される社会の諸課題を意識した課題解決学習

1
年
次
生

- ・ 基礎、基本を重視したクラス単位の授業
- ・ 科目「産業社会と人間」を通したキャリア教育の充実
- ・ 科目「総合実習」を通した体験的な学習機会の充実
- ・ 共同宿泊実験実習、遠足などを通した集団生活への適応及び基本的生活習慣の確立

思考・判断・表現力等
（知っていること、できることを
どう使うか）

知識・技能
（何を知り、
何ができるか）

学びに向かう力・人間性等
（どのように他者・社会・世界と
関わり、よりよい人生を送るか）

学力の3要素
（社会で自立して活動していくために必要な力）

中
学
校

- 自分には何が向いているのだろうか？ ○将来どのような進路を目指せばいいのか？
- 自分の可能性を上げ、いろいろなことにチャレンジしたい ○一人の人間として社会に貢献したい

